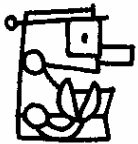


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
星の動き / 理解シート

ペガサス座の神話について、教えて



勇者ペルセウスが、見た者を石に変えるかい物メドウサの首を切ったとき、岩から生まれた天馬がペガサスさ。

ペルセウス座とペガサス座のギリシャ神話

ゼウス神の息子ペルセウスは、母親といっしょに箱船で海に流され、たどり着いた島で成長します。やがて、島の王に、髪はヘビ、体はうろこにつつまれ、金の羽をもち、見た者を石に変えるかい物「メドウサ」の首を取ってくることを約そくさせられました。ペルセウスは、ゼウス神の使いから、鏡のかわりをするたてと、首を切るかまをあたえられ、メドウサの首を切り落とすことができ、首から出た血がかかった岩から、羽をもつ天馬が現れました。この天馬がペガサスです。ペルセウスは天馬に乗り、とちゅうで、エチオピアの王女アンドロメダを助けたりしながら、島に帰ってきます。ペルセウスをじゃまあつかいした王の前で、メドウサの首をつみから出すと、それを見た王たちは石になってしまいました。

ペルセウスは、生まれ故郷に帰る旅に出、とちゅうの町で競技大会に参加し、円ばん投げをしたところ、円ばんが見物していた老人にあたり、老人は死にました。この老人は、孫であるペルセウスに殺されると予言されて、ペルセウスと母を箱船で海に流したおじいさんで、予言どおりになったのです。

秋の四角形ペガサス

秋、南の空の真上近くに見える、大きな四角形がペガサス座の目印です。

四角形の一つは、北の空にかかるアンドロメダ座の星で、そのすぐ近くにカシオペヤ座、ペルセウス座が見られます。

